

グループホーム特集!

ひかりの峰
 発行人
 社会福祉法人
七峰会
 理事長 奥田 稔
 〒036-8356
 青森県弘前市大字下白
 銀町21-8
 電話(0172)33-8861
 FAX(0172)33-8862

七峰会では昨年12月に知的障がい者のグループホームが一度に5ヶ所認可となり計11ヶ所となりました。また現在、2ヶ所目となる認知症(痴呆症)・高齢者グループホームも建設中です。

一般的にグループホームといわれているものは大きく2つに分けられます。一つは知的障がい者を対象とした地域生活援助事業(知的障がい者グループホーム)、そしてもう一つが認知症高齢者を対象とした認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)です。

今回は地域での自立的な生活を手助けする在宅サービスの一つであるこのグループホームについてとりあげます。



グループホーム(デイサービスセンター) 完成予想図

認知症(痴呆症)高齢者グループホーム

〓只今弘前市特等地に建設中〓

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)は、認知症高齢者が、少人数(ユニット9人まで)を単位とした共同住宅の形態で、食事の仕度や掃除、洗濯などをスタッフが利用者とともに共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより、認知症状の進行を穏やかにすることにあります。

グループホーム「アップル」では、少人数の中で『なじみの関係』をつくり上げることで、一人ひとりの生活を大切に、それぞれが得意なことを活かせるよう努力しています。例えば、居室は使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれ、一つ一つの居室には、個性が感じられます。(安心した住環境)また、菜園活動など、馴染みの道具での作業。収穫した物はスタッフと一緒に調理し、なつかしい「おふくろの味」を堪能します。こうして、失われかけた力を再び引き出し『生活様式を再構築する』ことに努力しています。

特別養護老人ホームサンアップルホームでは、高杉地区に平成12年度併設で、グループホーム「アップル」(ユニット9人)を開設しましたが、おかげ様で、第三者評価や利用者のご家族様の信頼もいただき、多くの皆さまのご要望により、今春5月の開設をめざし、只今、弘前市内若葉の風光明媚な特等地にグループホーム(2ユニット18人)とデイサービスを建設中です。

入居にあたってのご相談や申し込みはいつでも受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

- ▼特別養護老人ホームサンアップルホーム
- ▼弘前市高杉字尾上山350

0172-97-2111 担当 佐々木

(平成16年12月24日より、痴呆症は認知症に改められました)



地域で暮らして

知的障害者
更生施設

拓光園

拓光園では、知的な障がいを持ちながらも地域で暮らすことを目指して、これまで多くの取り組みを行ってきました。一定期間を定めその中で社会適応技術の習得を図る自活訓練事業を始めとして、トレーニングホームでの生活実習、またさまざまな事業所での職場実習も経験して来ました。それらを経験する中で、自分達も地域の中でその一員として生活していきたいという思いは高まり、今年度8名の利用者が園を巣立ち実際の生活を開始しました。



岩木町高屋にある住宅に4名、弘前市城西地区にある住宅に4名それぞれ女性メンバーが生活することとなったのは4月の事でした。世話人が朝夕の食事のケアをし、それ以外の事に関しては、で

きるだけ自分達で役割を分担し行うようにしてきました。日中は職場実習などに出かけますが、帰宅してからは皆で憩いあう環境を作っていました。問題が起これば話し合いで一つ一つ解決してきました。そして小さな一歩一歩の積み重ねが功を奏したかのように両住宅とも12月にグループホームの認可を受けることとなりました。



地域で生活することに関しては、当初本人達にも多少の戸惑いがあり、また保護者の方々にも不安があったようです。施設のように周囲の利用者や職員から干渉されることはありませんが、それだけに自分の行動に責任を持ち、自分の意思をはっきり伝えていくことで自信が持てるようになってきました。知的な障害はあっても地域で生活できるんだという思いがより一層大きな輪になることを期待してこれからもグループホームでの生活を続けていきます。

グループホームでの生活

知的障害者
通勤寮

拓心館

昨年12月、拓心館グループでは3つのグループホーム（地域生活援助事業）が認可され、既存のもの合わせて合計9ヶ所（弘前市6ヶ所、黒石市1ヶ所、岩木町2ヶ所）となりましたが、今回はここでの生活についてご紹介したいと思います。

それぞれのグループホームでは、知的に障がいのある方達数名が世話人の支援を受けながら一軒家やアパートを借り、家賃や食費、高熱水費等の生活費を給料や年金等から支払って自立した地域生活を送っています。

グループホームの一日は掃除やゴミ捨てから始まり、食事、身支度をし、世話人手作りの弁当を持って仕事等に出掛けて行きます。一日の活動を終えた後は、入浴で汗を流したり晩酌をしながら夕食を摂ったり、仲間と談笑したり好きなテレビ番組を見たりと、思い思いの寛ぎの時間を過ごします。今日一日の出来事を世話人に話して聞かせ、明日への活力にする方も多いため、利用されている方に

とって世話人は、食事の支度や身辺整理の手伝い、金銭管理をしてくれる他、精神面での支えにもなってくれる大切な存在です。

また、週末には、地域の活動やフィットネスクラブに参加したり、買い物を楽しんだり、グループホームでゆっくりしたりと過ごし方は様々ですが、地域生活をしている方達全体の自治会として『地域生活者自治会』があり、その自治会では余暇の充実の為に、参加者自身がイベントや旅行等を計画・実行しています。今年の新年会も、日帰りバス旅行を兼ねての宴会を行ったばかりですが、参加者からは「楽しかった！」と充実の声が聞かれました。

この様に、毎日の仕事等に励み、余暇を楽しみ、地域の方達に支えられながら、グループホームを利用している方達がより一層充実した思いで地域生活を送ることができるよう期待しています。



いつでも、
どこでも、
どなたでも…

身体障害者
療護施設
山郷館

山郷館訪問介護サービスについて

山郷館では、ショートステイ（短期入所）、デイサービス（通所介護）、ホームヘルパー派遣（訪問介護）、居宅支援（ケアプラン作成等）など各種在宅サービスを実施しています。

今回はその中でも訪問介護についてご紹介いたします。訪問介護では次のような特徴を持ちサービスの提供にあたっています。

①身体障害者療護施設山郷館をバックアップ施設とし、障がい者支援に関わる経験と実績をサービスに反映させています。

②支援費、介護保険の両制度を対象としています。介護が必要な方はどなたでもご利用いただけます。

③津軽地域をカバーしています。山郷館所在地の岩木町のほか弘前市、黒石市及び近隣町村を活動範囲としています。

④24時間いつでもご利用いただけます。早朝、夜間及び深夜のおむつ交換や体位変換など継続したサ

ービス提供が可能です。

⑤障がい特性にあわせ、視力障がいや全身性の障がい者などへの通院、外出を支援するガイドヘルパーや児童の介助、見守りもサービスとして可能です。

山郷館では、「いつでも！」「どこでも！」「どなたでも！」をモットーにトータルな地域生活支援を目指しています。3カ所のデイサービスセンター（岩木・弘前・くれよん）とあわせてご利用ください。



グループホームの他にもいろいろな在宅サービスがあります。そのなかのいくつかをご紹介します。

気軽に
通勤しています

身体障害者
授産施設
旭光園

旭光園では通所・相互利用事業を行っています。当園隣接の福祉ホーム「さわら」や弘前市・岩木町など近隣の市町村から19名の方が利用しています。自宅からマイカー・電車・バス・家族の送迎・自転車毎日通勤し、授産作業では重要な主力メンバーとして、ラベル印刷や製袋作業、弱電部品の組み立てなどに活躍しています。

活動の場として

当園を見学された多くの皆さんは「普段の生活の中で何もすることのないのが最も苦しい」「活動の場が欲しい」「何らかの目標を持ちたい」という話をよくされます。その思いに少しでも応えたく、自己責任と手弁当を条件に、通所メンバーの他に4名の方を実習という形で受け入れをしています。その中のひとりの方は「障がいを負う前の仕事に比べたら、旭光園での作業は本当に軽い仕事ですが、少しでも

身体を使うこと、決められた時間で活動することがリハビリになり、将来は以前の職場に復帰できればと思いい利用しています」と話しています。

旭光園ではこれからも通所・相互利用事業を通して、在宅の皆さんに「働く場の提供」を大事な視点に置きながら支援して行きたいと思えます。

（お知らせ）

昨年4月より、身体障害者短期入所事業を開始しました。ご家庭の事情により短期の宿泊を必要とされる方のご利用をお待ちしています。

連絡先 57-5155 旭光園



いわせてネット

いい汗かいてます！

〜新たな訓練!? 卓球が大好評〜



昨年山郷館デイサービスセンター弘前に卓球台が入りました。午後の機能訓練の時間は新たな訓練メニュー(?)に汗を流している光景が毎日のように見られています。

プレー中の松居さんによつとお話を聞いてみましょう：

前から卓球は好きなスポーツの一つだったばって、学生の時部活でやっていたわけでもねえはんで初めどんなべなあと考えたね。でも、やってみると楽しくて、よくなってきた。これほど卓球好きになると思わねがったあ。

この前まぐれで相手からのスマッシュ返せた時だったや、2〜3日興奮しっぱなしだったじゃ。

意外と運動量多くて汗かぐはんで新陳代謝もよくなってきた。リハビリの先生がらも、『いい訓練でプラスになつてらんでねが』って言われたね。



眠る身体に刺激して“
松居 久三
(ある募集で佳作に入ったそうです)

松居さんはご自分のラケットを持参しているほどの熱のいれようです。片麻痺を克服すべく今日も白熱したラリーが続いています：

ただ、夢中になりすぎて転べばまねはんで、いつでもすぐに卓球台さつかまってバランス取れるように、そごだけは気づけでやつてるなあ。

卓球始めでがらは、前向きに何さでも挑戦！“つていう気持ちになつたじゃ。今は卓球が生きがいの一つになつてしまつて、こごさ来るの楽しみで楽しみで。

松居久三さん談

七峰会後援会コーナー

七峰会後援会 定期総会開かれる

平成17年2月15日午後6時より『グリーン要』において、平成16年度七峰会後援会定期総会が開催されました。当日は61名の会員が参加され、石崎会長が議長を務め、

- 一、平成16年度事業報告及び収支決算書(案)承認の件
- 二、平成17年度収支予算書(案)承認の件
- 三、任期満了による役員改選の件

について審議されましたが、役員は全員再任され全議案とも満場一致で承認されました。続いて、市内若葉地区にこの元旦開設した身障児者デイサービスセンター『くれよん』と知的障がい者デイサービスセンター『エイブル』の活動状況、さらに今建設中の高齢者グループホームとデイサービスセンターのスライド説明があり、七峰会の積極的な取り組みに賛同の声が発せられていました。

その後、懇親会に移り会員相互の親睦と情報交換となり、時間の過ぎるのも忘れるような盛会となりました。

<h3>総合支援</h3> <p>弘前市委託事業 身体障害者相談支援事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400</p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4520</p>	<h3>知的障害者援護</h3> <p>拓心館 TEL 82-4520 知的障害者グループホーム(9か所) 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 デイサービスセンターエイブル TEL 96-2331</p> <p>拓光園 TEL 96-2331 通所利用事業 知的障害者グループホーム(2か所) 拓光園デイサービスセンター 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター</p>	<h3>身体障害者援護</h3> <p>旭通所相互利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 身体障害者福祉ホームさわら TEL 57-5155</p> <p>山郷館 TEL 97-2211 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館デイサービスセンターくればよん TEL 97-2131</p>	<h3>特別養護老人ホーム</h3> <p>サンアップルホーム TEL 97-2111 サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルホームデイサービスセンター サンアップルヘルパーセンター グループホームアルパブル (痴呆対応型共同生活介護) 弘前市委託事業 サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p>	<h3>居宅介護支援事業</h3> <p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p>
---	--	---	---	--